

■故障のときは

むやみに修理しないで、早く販売店で点検整備をしてもらうことが、お車を長持ちさせる秘けつです。

始動しない、または動がなくなったときは、次の点を確認しましょう。

- ガソリンは、キャブレターまできていますか？
- オイルは、規定量ありますか？
- キルスイッチはRUNになっていますか？
OFFの状態になっていたときは次のことを行なってください。(RUNの状態ではプラグがかぶった時も同様な操作をしてください。)
- 1. キルスイッチをOFFのままにします。
- 2. チョークノブを全部戻します。
- 3. スロットルを全開にします。
- 4. キックペダルを4～5回ふんでエンジンをまわします。
- 5. キルスイッチをRUNにして19ページの始動要領でエンジンをかけてください。

- プラグから、火花が出ますか？

プラグを取外し、イグニッションコイルの高圧コードに取付け、プラグをエンジンにアースさせ(感電を避けるためにプラグキャップ以外には触れないでください。)、メインスイッチを“ON”にして、キックします。このとき、プラグの電極に火花が飛ぶか確認します。この点検をする前に、シリンダーやクランクケースにガソリンが付着していないか確認してください。ガソリンが付着していると引火するおそれがあるので蒸発する

のを待つか、またはウェスで完全に拭きとってから行なってください。

- かけかたは、取扱説明書通りですか？

——かからないときは、少し時間をおいてもう一度確かめましょう。——

ホーンやウインカーが作動しないときは、次の点を確認しましょう。

- バッテリーは、異常ありませんか？
- ヒューズは、切れていませんか？
- コードの接続が、外れていませんか？
- 球切れはありませんか？

故障の修理

- ホンダ販売店またはお近くの〈ホンダSF〉へお申しつけください。
- お持ち込みいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。
- 長くかかるものは、予定をお知らせします。
- お持ち込みのむずかしいときは、電話でご連絡ください。